

平成 25 年度環境まちづくり支援事業

子ども環境授業実施結果報告書

概要版



なかはらエコ推進大使
ロジーちゃん

平成 25 年度「子ども環境授業」

子ども環境授業の目的

中原区では、地球温暖化防止に向けて、区民との協働で様々な取り組みを進めています。これまで、環境について個人で取り組む「中原流エコ作法」、家庭で取り組むエコライフスタイル集「ロジーちゃんと地球にやさしい生活」、環境活動に地域で取り組むため「中原区民環境行動指針 ロジーちゃんをつくろう ECOなまち なかはら」を作成しました。平成 25 年度は、地域の団体や企業が行っている環境活動を地域に広げることにより、中原区民環境行動指針で示された活動・取り組みを地域へ普及啓発することを目的として子ども環境授業を実施しました。



平成 26 年 3 月

「矢上川で遊ぶ会」による授業

実施概要 「矢上川で遊ぶ会」による本月小学校出前授業

- 日 時：平成25年9月24日（火）、10：30～11：30
- 生徒数：4年生2クラス52名
- 学習の単元：総合学習「まち歩き（ハッピータウン本月）」
- 授業内容：川の生きものやごみについて見たり、触れたりして学ぶ

授業の目的

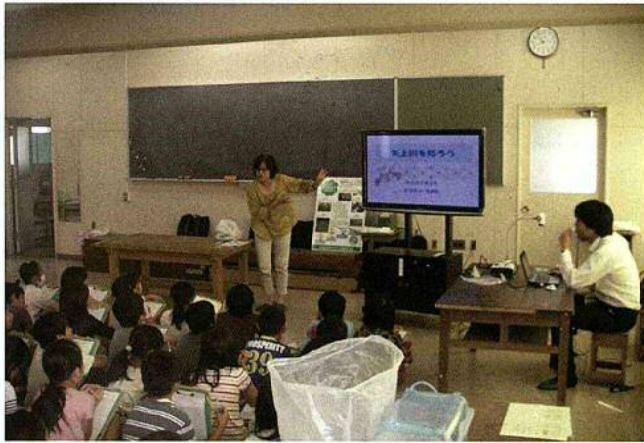
地域を流れる川には、いろいろな面から子どもたちの学びの素材がつまっています。

川の自然、生きものや水とのつながり、治水の歴史の観点からみても、子どもたちにぜひ関心をよせてもらい、楽しみながら、人と自然のつながりの大切さを学びます。

授業のようす

子どもたちが、一番関心を持ったのが、「矢上川のごみ」のことで、ごみは、生きものにとっても迷惑なものだということを理解したようです。生きものについても関心が高く、質問も数多くありました。

授業を通して、人と自然や生きものとのつながりの大切さが、子どもたちにも理解されたようです。



「矢上川で遊ぶ会」の庄司代表の話に、一生懸命にメモをとる子どもたち。



カニのほかにも、矢上川にはいろいろな生きものがあるんだよ。

NEC 玉川事業場見学会

実施概要 下沼部小学校による NEC 玉川事業場見学

- 日 時：平成25年11月6日（水）、11月13日（水）、（両日共）9：30～11：30
- 生徒数：5年生3クラス94名
- 学習の単元：総合学習「環境」
- 見学内容：玉川事業場の環境への取り組みについて

※ NEC 玉川事業場の見学を希望する場合は、中原区役所にご相談ください。

授業の目的

NEC 玉川事業場が行っている「食べ残しから肥料をつくる」、「ゴミを分別して、コンパクトにする」などの環境への取り組みの見学を通して、自分たちの身の回りのできる「省エネ」や「節電」、「節水」、「ゴミを減らす」などの環境活動のきっかけづくりとします。

授業のようす

子どもたちの一番関心が高かったのが「生ごみ処理施設」で、次に「食堂の環境対策」でした。

特に、会社の食堂から出る食べ残しなどを生ごみ処理機で肥料にしていることにとっても感心していました。また、その肥料を近くの農家に提供し、そこでできた野菜をさらに食堂の食材として購入することで「食物循環」を行っ

ていることなどにも興味持って説明を聞いていました。

また、太陽光発電の発電量の質問がありました。下沼部小学校でも太陽光発電を行っているの、関心があったようです。



子どもたちに一番関心があった、1階にある生ゴミを肥料に変える装置（コンポスト）。



蛍光灯が1本なのに、反射板がついているので、2本分の明るさに光っています（eco たまショールーム）。

パソコン分解を通して学ぶ私たちの3R

実施概要 大戸小学校による富士通川崎工場見学

- 日 時：平成25年11月20日（水）、9：00～12：00
- 生徒数：5年生4クラス127名
- 学習の単元：総合学習「環境」
- 見学内容：パソコン分解教室（パソコンの分解を見ながら3Rについて学ぶ）
※富士通は、川崎市の「環境教育等に係る体験の機会の場の認定事業者」です。

授業の目的

省エネ、省資源へ取り組むためのキーワードである3Rを理解し、パソコンの分解を通して3Rへの取り組みを知ってもらい、普段の生活の中での自分たちにできる環境配慮活動は何かを考え、行動を起こすためのきっかけとします。

授業のようす

子どもたちに関心の高かったのが、「パソコンの部品を何にリサイクルするか」ということで、グループごとの発表でも活発に発表していました。

また、はじめに説明を受けた、資源枯渇の現状についての関心も高く、日本国内で1年間に使用されるレジ袋の量の多さに驚く意見もありました。

授業を通して、「パソコン分解の3R」を自分たちの身近な問題に置き換え、環境活動の動機づけがされたと思います。



パソコンの分解に興味深く見つめる子どもたち。



ばらばらになったパソコン。

子ども環境授業の感想

木月小学校の感想

今回の内容で子どもたちがしっかりとメモを取り、川について深く知ることができました。来年度は時期を見て、是非実際に川に行き体験できるよう、今回の内容をファイルし、次学年に引き継いでいきたいと思います。

来年もぜひ、行う方向でお願いします。

矢上川で遊ぶ会の感想

学校で配布した矢上川クリーンアップとハゼ釣り大会のチラシのおかげで、たくさんの方に参加していただきました。木月小からは、12名の親子のみなさんの参加がありました。

子どもたちは、クリーンアップも楽しそうにし、保護者も楽しそうに参加。クリーンアップの後は、水のアクティビティのゲームを3つ楽しみ、午後はハゼ釣り大会。大きなマハゼが18匹、セイゴが2匹。一日たっぷり遊んで帰りました。

下沼部小学校の感想

昨年に比べ、一段と内容が濃くなっていると感じました。はじめの学習テキストの内容も、下沼部の児童数と働いている方の人数を比較していただき、新しい身近な情報を使ってくださって驚きました。

コンポストやコンバクタも近くでしっかり見ることができました。私のグループの子どもたちは、コンポストのにおいも気にならず、カップラーメンのスープの粉末のにおいだと言っていました。

NECの感想

見学では皆さん熱心に話を聞いていました。また、たくさんの質問が出て案内する側もやりがいがありました。また、今回のアンケート結果を拝見して子どもたちが環境への関心を持っていただけたようでとても安心しました。

ぜひ、日々の生活の中で自分たちができることを実践してってください。みんなで美しい地球環境を守っていきましょう。

大戸小学校の感想

3Rについて学ぶきっかけになりました。自分たちで環境について学んでいくきっかけになりました。

富士通の感想

初めてパソコンの内部を見る子どもたちが大半だったこともあり、パソコン分解を通して楽しく3Rの大切さを学んでいただけたようでした。

今後も子どもたちが環境について考え、行動を起こすためのきっかけとなれるよう当活動を継続していきたいと思います。

子ども環境授業のまとめ

子ども環境授業を行い、子どもたちのアンケート結果から、「ECOなまち なかはら」を実現するための、STEP1は、十分に達成できたと手ごたえを感じています。STEP2、STEP3についても、すでに「矢上川のクリーンアップ」に参加したり、活動したいと考えている子どもたちがいるようです。

子ども環境授業は、環境について学ぶだけではなく、子どもたちの身近な問題に置き換えられるように見学や体験を通して、「自分でやってみよう」、「家族でやってみよう」という動機づけになるように進めていきます。

この動機づけによって環境活動は、子どもたちから家族に広がり、やがて地域全体に広がっていき、地域のみみんなで課題や目標を共有し、環境活動に取り組んでいくようになると思っています。

編集：株式会社セルコ

発行：中原区役所まちづくり推進部企画課

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

中原区役所まちづくり推進部企画課

〒211-8570 川崎市中原区小杉町3-245 TEL. 044-744-3149